

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ゆいわーく茅野 市民活動者の裾野拡大と With コロナ/After コロナ時代の活動支援
事業主体 (連絡先)	茅野市 (市民活動センター『ゆいわーく茅野』)
事業区分	(1) ⑧その他地域の元気を生み出す市域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	889,350 円 (うち支援金: 626,000 円)

事業内容

市民活動センター『ゆいわーく茅野』は、「であう つながる 創造する」をキーワードに、市民総参加で持続可能なまちづくりを目指しています。地域の資源(ヒト・モノ・コト)を足がかりに、自主的、主体的に地域の課題解決に向けて行動し、まちの元気を生み出す活動を様々な視点からサポートし、市民とともに豊かなまちづくりをすすめています。

今年度は、縮小傾向にある市民活動者の高齢化・後継者不足、また今後も続く with コロナ/after コロナ時代に向けた団体継続について、特に支援しています。



【市民活動実践講座】
3回目楽しく実践するヒント
プログラム発表の様子

事業効果

【令和3年度講座実績(別紙あり)】

- ・つながる仲間づくり講座 13名(延25名) ・対話の場づくり講座 4回 18名(延べ53名)
- ・市民活動実践講座 3回 14名 ・ボランティア基礎講座 15名
- ・ボランティア見える化 ユーチューブUP 7団体

【行動の変化、参加者の感想】

- ・コロナ禍のためオンラインでの開催となった講座もありました。そのため、まず参加者にオンラインに慣れてもらうための講座を開催し、オンラインでも参加しやすいようにした。
- ・ボランティア基礎講座「ボランティアで活かせる傾聴力」に初めてオンラインで参加し、緊張しました。会場までの移動がなく家で受講ができることはよかったです。実際に会って講座を聞いたかったです。わかっているつもりでもわかっていないことが多くありました。勉強になりました。
- ・ボランティア見える化では、コロナ禍で市民団体の活動を知ってもらう機会が減っていたが、ユーチューブにアップしたことで、窓口で新たに市民活動に参加したい方に実際の動画を見てもらうことで、活動が伝わりやすくなった。また、活動団体も自分たちの活動してきたことが発表できてよかった。

今後の取り組み

- ・今年度の団体、個人あてのアンケート調査の結果を基礎データとして、次年度は with/after コロナ時代に、活動を継続するための講座や、活動者を拡大するための講座を企画します。
例：市民活動支援と新たなつながりづくり講座
広報スキルアップ講座、ボランティア活動者応援講座
楽しく活動するための市民活動実践講座
市民活動団体の紹介(カタログ作成や活動説明会など)
- ・新型コロナウイルス感染防止対策については、ガイドラインを作成し、講座実施の方法や会場の消毒方法、実施の可否を検討してきました。市民活動の支援をするセンターとして、今後も感染状況に合わせ、常にガイドラインを見直して実施していきます。

※自己評価【 B 】

【理由】
・センター主催事業をきっかけに、活動再開に向けた動きとなった団体が多かった。
・活動者ニーズに合わせた事業により、どの講座も満足度が高かった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある